

五家荘 ～脊梁・白鳥山～ 第三回ハイキング講習会

【報告者】T口

【日時】2018年10月27日～28日

【天候】晴れ

【参加者】Y口(CL)、A屋(SL)、F谷(SA)、みっちー、K崎、H田、I藤、T口

《コースタイム》

【1日目】基山SA〔6:00〕-R218/R445 経由-峰越登山口〔11:04〕-御池〔12:05〕-白鳥山〔12:23〕-横才越〔13:20〕-横才山〔13:24〕-幕营地(高度1370~80m)〔14:48〕-テント設営後食事開始〔17:30〕

【2日目】起床〔06:30〕-幕营地出発〔08:20〕-林道〔09:09〕-横才越〔10:19〕-白鳥山〔11:14〕-御池〔11:31〕-峰越登山口〔12:12〕

《 報 告 》

Y口さんがリーダーとなり、第三回ハイキング講習会を実施していただきました。天候は晴れでしたが、高度1500m地点にある峰越登山口には季節どおりの冷たい空気が漂っていて、皆さんいそいそと防寒対策をしています。背の低い竹藪を突っ切った先には視界の開けた原生林の大地が続き、なだらかでとても歩きやすく、まさにハイキングそのものでした。秋の装いが賑やかな遠くの山並みや、赤や黄に色づく木々や木の葉のじゅうたん、H田さんが教えてくださるきのこや植物を間近でわいわい楽しみながら、のんびりと歩きます。御池の周辺ではところどころ柵で囲った区域があり、自然の状態で生えている山野草を楽しむこともできました。後で知ったのですが、脊梁山地一帯は過去の地殻変動で海中に沈まず陸地として残った地帯で、日本固有種を含む「襲速紀(ワヤキ)要素」と呼ばれる独特の進化した植物(キレンゲショウマやツクシシャクナゲ等)が自生するそうです。かわいい顔して毒があるタンナトリカブトの花が盛りに咲いていました。まずは白鳥山(1639m)に登頂して皆で集合写真を撮ります。折しも10月末はHalloween! I藤さんがパーティグッズを持ってきてくださっていて、とってもかわいらしいオバケやコウモリと一緒に「はいチーズ♪」となりました。横才山を越えた先にあるはずの水場が枯れていたため、想定よりも登山道から外れた森の中で幕営することとなりました。めいめいテントやツェルトを設営していきます。ビバークを想定した訓練として、A屋さんよりタープの設営方法をはじめ、落ち葉を集めて寝床に敷く、寝る前にタープを低くして風を避ける等、暖を取るための工夫を学びました。晩ご飯のメニューはとっても豪華。ザックのどこに入っていたのか…たくさんの食材がすき焼き、キノコのオイル煮、なべ焼きうどん、ラーメン、焼きマッシュマロ等々に変身。アイデア豊富なメニューで山ごはんの楽しみを知りました!先輩方にお裾分けをしていただきとても美味しい時間となりました。夜はタープとシュラフのみで寝ることに挑戦。足元の冷えに一度目を覚ましたものの厳冬期用シュラフを貸していただいていたのであたたかく朝まで眠ることができ、とても良い経験をさせていただきました。翌朝は、来た道を引き返さず別ルートを取り、私以外の全員が地図とコンパスとGPSで読図をしてなんとか登山道へ戻りました。山で迷う怖さと読図スキルの大切さを同時に痛感し、自身もいつか読図ができるようにならなければならないと思います。末筆となりますが、ご報告が遅れましたこと大変申し訳ありません。山中で夜を過ごすのは初めてで、当日までは不安も感じていましたが、先輩方のあたたかなフォローがとてもありがたく、思い出深い2日間を過ごすことができ、またとても勉強になりました。本当にありがとうございました。

